

新技術社会実装支援プログラム（令和8年度追加募集分）
（令和7年12月5日付で認定を受けた支援プログラムの概要）

支援プログラム名称	実施期間	対象事業区分	支援プログラムの概要	申請額
万博レガシーの社会実装支援事業	令和8年4月1日から 令和9年3月31日	実証実験支援	「未来社会」を実現する新たな技術・サービスの社会実装に向けて、スタートアップ等×大企業・自治体・アカデミアといった多様な組合せによる実証実験を、企画から社会実装に向けた効果検証まで一気通貫で支援する。	400,000,000 円
		マッチング・共創機会の提供	大企業や業界・経済団体や、連携している他のスタートアップ支援機関とのネットワークをもとに連携し、様々なイベント等を通じてスタートアップ等と大企業等のマッチング機会を提供し、共創の合意形成に至るまで両者の間に入り丁寧なフォローを行う。	100,000,000 円
		伴走支援	新たな技術・サービスの社会実装に向けて、スタートアップ等のビジネスモデルのブラッシュアップや事業計画の策定に関する支援をはじめ、将来的なビジネスの海外展開や出口戦略に関する支援も実施する。	100,000,000 円
		施設運営	社会実装をめざすスタートアップ等への各種支援活動のベース拠点となる大阪淀屋橋のオープンイノベーション施設を運営する。スタートアップ等及び共創パートナーとなる大企業の集積を促すことで支援活動を加速させる。	150,000,000 円

新技術社会実装支援プログラム（令和8年度追加募集分）
 (令和7年12月5日付で認定を受けた支援プログラムの概要)

GROOVE TO BUILD OSAKA 「新技術」×「大阪のものづくり力」共創型社会実装 プラットフォーム	令和8年4月1日から 令和9年3月31日	実証実験支援	「GROOVE PoC & Co-Creation」は、伴走支援プログラムの対象チームなどが、大阪府内での社会実装を目指して行うPoC（概念実証）や実証実験を支援する。技術検証だけでなく、多様なフィールドを活用し、社会における受容性やビジネスとしての成立可能性の検証を重視する。	315,000,000 円
		マッチング・共創機会の提供	「GROOVE OSAKA」は、先端技術と大阪の“強み”を繋ぎ、イノベーションに関わるプレイヤーの固定化と豊富なリソースの連携不全という課題を解決するための共創プラットフォーム事業。共同事業体の強みを結集し、大阪の地域性を活かした「ソフト×ハードの融合」を実現する。	79,000,000 円
		伴走支援	「GROOVE Acceleration Program」は、「デザイン経営×発信力強化型」の伴走支援プログラム。発掘・組成された有望なスタートアップやコラボレーション・プロジェクトを対象に、約6ヶ月間の集中支援プログラムを提供し、プロトタイピングから事業化までを一気通貫で伴走する。	62,000,000 円
		施設運営	「GROOVE Hub @中核拠点」は、新技術の社会実装を加速させるために不可欠な、多様な人材が日常的に交流し、アイデアを即座に形にできる物理的なハブ拠点（大阪市北区南森町エリア）を中核拠点として運営する。	16,500,000 円